

各種がん検診について

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことです。

69歳までの方に特に推奨されています。

がん検診では、症状がない方が精密検査を受ける必要があるかを確認します。

自覚症状がある方は検診を待たず医療機関を受診し、詳しい検査をすることが大切です。

気になる症状がない方



定期的ながん検診を受ける

気になる症状がある方



検診を待たずに医療機関を受診する

医療機関での受診をお勧めする場合があります

安全に検査していただくため、当日の間診状況によっては検査をお断りし、医療機関での受診をお勧めする場合があります。各種がん検診の留意事項は、各がん検診のページをご確認ください。また、がん以外の疾患で治療中の方は、検診受診について主治医にご相談ください。

がん検診には利益(メリット)だけでなく、不利益(デメリット)もあります

すべてのがん検診にはメリットとデメリットがあります。これらを正しく理解し、受診することが大切です。

がん検診のメリット

- ・ がんを早期に発見できる
- ・ 早期発見により、治療負担が少なくなる

がん検診のデメリット

- ・ がんが100%見つかるわけではない
- ・ まれに検査による事故を招く場合がある

各検診を受診できるのは年度内1回のみです

複数回受診した場合、費用助成分を含めた料金をいただきます。

下記の方は健診(検診)が無料で受けられます

市では、健診(検診)の費用助成を行っています。
健診(検診)の自己負担額は、各種健診(検診)のページまたは1～2ページをご確認ください。

自己負担額が無料となる方

- ・ 70歳以上の方(肺がん等検診は61歳以上の方)
- ・ 生活保護受給者
(生活保護受給証明書の提出が必要です。大仙市役所生活支援課で交付を受けてください。)
- ・ 身体障害者手帳1～3級の方または検診当日65歳以上で4～6級の方
(身体障害者手帳の提示が必要です。)
- ・ **各種がん検診無料対象者** (マイナンバーカードなどの身分証明書類の提示が必要です。)

令和8年度 各種がん検診無料対象者
以下の対象年齢の方は自己負担分を無料で受診できます

大腸がん検診

対象生年月日	年齢
S 6 1年4月2日～S 6 2年4月1日	40歳
S 4 6年4月2日～S 5 1年4月1日	51～55歳

乳がん検診

対象生年月日	年齢
S 5 6年4月2日～S 6 1年4月1日	41～45歳

胃がん検診(X線検査)

対象生年月日	年齢
S 6 1年4月2日～S 6 2年4月1日	40歳
S 5 0年4月2日～S 5 1年4月1日	51歳
S 4 8年4月2日～S 4 9年4月1日	53歳
S 4 6年4月2日～S 4 7年4月1日	55歳
S 4 4年4月2日～S 4 5年4月1日	57歳
S 4 2年4月2日～S 4 3年4月1日	59歳

子宮頸がん検診・婦人科超音波検診

対象生年月日	年齢
H 1 7年4月2日～H 1 8年4月1日	21歳
H 1 5年4月2日～H 1 6年4月1日	23歳
H 1 3年4月2日～H 1 4年4月1日	25歳
H 1 1年4月2日～H 1 2年4月1日	27歳
H 9年4月2日～H 1 0年4月1日	29歳
H 3年4月2日～H 8年4月1日	31～35歳

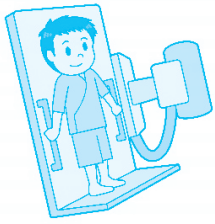
※胃がん検診(X線検査)は無料です。
胃がん検診の詳細は11～12ページをご覧ください。



市のがん検診はお得です！

自己負担のあるがん検診でも、費用助成によりお得に受診できます
(例) 胃がん検診の場合、約5,500円の検診が1,500円
大腸がん検診の場合、約1,600円の検診が600円で受診できます！

胃がん検診(X線検査/予約制)



検診内容：問診、バリウム使用のレントゲン撮影

自己負担額：1,500円(70歳以上は無料)

持ち物：各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

服装：無地のTシャツ、トレーニングパンツ等

注意事項：服装はプリントやボタンがついていないものを着用してきてください。
キャミソールなどについているプラスチックも画像に写ります。
上半身には湿布薬やエレキバンなどをつけないでください。

検査前後の過ごし方

検査前日

- ・食事は**午後9時まで**に済ませてください。水は就寝まで飲んでも差し支えありません。
- ・飲酒は避けてください。

検査当日

- ・水は**検査開始2時間前まで**、コップ1杯(200ml以内)であれば飲んでも構いません。
それ以降に飲まれた場合、検査できないことがあります。
- ・水以外の飲食は避けてください。
- ・検査終了までタバコは控えてください。
- ・高血圧・心臓病・不整脈の薬がある方は、検査開始2時間前までに水で薬を飲んでください。
- ・糖尿病の内服・インスリン注射は低血糖を起こす危険があります。使用しないでください。
- ・薬の服用に不安のある方は、事前に主治医にご確認ください。
- ・検査終了後、下剤をお渡しします。バリウム便が排泄されるまで、水分をたくさんとってください。

以下の項目に当てはまる方は、検査を受けることができません。

- ・胃がんの診断を受け治療を継続している方、胃の手術を受けたことがある方
- ・胃・十二指腸の病気で治療中または経過観察中の方、病院から内視鏡検査を勧められている方
- ・腹部の手術を受け、医療機関で治療中または経過観察中の方
- ・のどの病気や手術をしたことがある方
- ・妊娠中または妊娠の可能性がある方
- ・過去にバリウムを飲んで過敏症(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど)の症状があった方、
具合が悪くなったことがある方
- ・検査当日まで1週間以上排便がない方
- ・腎不全・心臓病で水分制限を受けている方
- ・背筋を伸ばして立つことが困難な方、自力で立つことが不可能な方、撮影台の手すりをつかむことが困難な方
- ・体重130kg以上の方(検査機器上、体重制限があります)
- ・肺切除した方(部分切除含む)、酸素ボンベ等による酸素吸入治療をしている方

胃がん検診ではまれに、腸にバリウムが詰まる「腸閉塞」や
誤って気管に入る「誤嚥」などを起こすことがあります。

- ※大腸の病気(クローン病・潰瘍性大腸炎・腸閉塞など)で治療中または経過観察中の方、
過去に手術を受けた方は、主治医に検診を受けてよいか事前に確認してください。
- ※飲食時にむせやすい方は、バリウムを飲む際に誤嚥する(バリウムが気管に入る)可能性があります。
バリウムが気管に入るとまれに肺炎を起こし、重篤な症状になる場合がありますので、
むせやすい方は内視鏡検査をお勧めします。

胃がん検診(内視鏡検査/申込制)



検診内容： 問診、胃内視鏡検査(胃カメラ)

自己負担額： 2,000 円

持ち物： 受診券、受診票(記入して持参ください)、同意書
マイナ保険証または資格確認書、お薬手帳
※受診券、受診票、同意書等の必要書類は
受診の申込みをされた方へ別途送付します

注意事項： X線検査と内視鏡検査のいずれか1回の受診になります。
内視鏡検査は、集団検診では受診できません。

対象者は以下のとおりです

- 51 歳 (昭和 50 年 4 月 2 日～昭和 51 年 4 月 1 日生)
- 53 歳 (昭和 48 年 4 月 2 日～昭和 49 年 4 月 1 日生)
- 55 歳 (昭和 46 年 4 月 2 日～昭和 47 年 4 月 1 日生)
- 57 歳 (昭和 44 年 4 月 2 日～昭和 45 年 4 月 1 日生)
- 59 歳 (昭和 42 年 4 月 2 日～昭和 43 年 4 月 1 日生)

申込方法

胃がん検診を登録している対象者の方へ、各種健(検)診受診券【ピンク色】に、「令和8年度 胃がん検診(胃内視鏡検査)のお知らせ」を添付しております。内容をご確認のうえ、お申込みください。
※胃がん検診が未登録の対象者の方には、別途案内を送付します。

次の項目に当てはまる方は、胃内視鏡検査を受けることができません。

- ①胃内視鏡検査に関するインフォームド・コンセントや同意書の取得ができない方
- ②妊娠中の方
- ③疾患の種類にかかわらず、入院中の方
- ④消化性潰瘍などの胃疾患で受療中の方
- ⑤胃全摘術後の方

胃内視鏡検査の禁忌

- ①咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- ②呼吸不全のある方
- ③急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方
- ④明らかな出血傾向またはその疑いのある方
- ⑤収縮期血圧が極めて高い方
高血圧治療中の場合、検査直前に血圧を測り、受検の可否を判断いたします。
降圧剤処置後に胃内視鏡検査を行うことは可能ですが、急激に血圧を降下させることはリスクを伴います。
- ⑥全身状態が悪く、胃内視鏡検査に耐えられないと判断される方

前立腺がん検診



検診内容：問診、血液検査によるPSA値測定

自己負担額：800円（70歳以上は無料）

持ち物：各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金

○前立腺がんの診断を受け治療を継続している方は医療機関受診をお勧めします。

乳がん検診(予約制)



検診内容：問診、マンモグラフィ(乳房レントゲン)検査

プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んでレントゲン撮影をします。
乳房の張りが強くなる月経前を避けることをお勧めします。

自己負担額：1,600円（70歳以上は無料）

持ち物：各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金
バスタオル

○次に当てはまる方は検診を受けることができません。

- ・乳がんの診断を受け治療を継続している方
- ・ペースメーカーを装着している方
- ・治療のためポート(管)を造設している方
- ・豊胸手術をした方
- ・授乳中の方、妊娠中または妊娠の可能性のある方

○新型コロナワクチン接種と乳がん検診について

新型コロナワクチン接種に伴い、まれに、接種後10週以内に接種した腕のわきの下などのリンパ節が腫れることがあります。

乳がん検診はワクチン接種前か、ワクチン接種後であれば少なくとも6~10週後に受診されることをお勧めします。

ブレスト・アウェアネスとは

自身の乳房の状態に日頃から関心を持ち、乳房を意識して生活することを言います。乳がんの早期発見・診断・治療につながる、女性にとってとても重要な生活習慣です。

「ブレスト・アウェアネス」の4つのポイント

- ①ご自身の乳房の状態を知る
- ②乳房の変化に気を付ける
- ③変化に気づいたらすぐ医師へ相談する
- ④40歳になったら、2年に1回乳がん検診を受ける

がん検診を受けることは大切なポイントの1つです。

ご自身の乳房に関心を持ち、生涯を通して健康で明るく充実した日々を過ごしましょう。



子宮頸がん検診・婦人科超音波検診(予約制)



検診内容： 問診、子宮頸部細胞検査、超音波検査

自己負担額： 1,800円（70歳以上は無料）

持ち物： 各種健(検)診受診券[ピンク色または黄緑色]、検診料金スカート

※フリースカートや、ゆったりしたロングスカートが適しています。

○子宮がんの診断を受け治療を継続している方は、医療機関受診をお勧めします。

子宮頸がん検診・婦人科超音波検診は、医療機関でも受診できます

【20歳～40歳】

子宮頸がん検診
(医療機関一括
方式)における
統一受診券

大仙市長 老松 博行
(公印省略)

令和7年度 子宮頸がん検診(医療機関一括方式)における統一受診券の送付について

20～40歳の方を対象に子宮頸がん検診・婦人科超音波検診を県内の協賛医療機関において実施いたします。あなたは「医療機関による個別検診」を申込みされましたので、この統一受診券をお送りします。

○ 検診実施期間 交付の日から令和7年12月26日(金)

○ 検診内容 問診・子宮頸部細胞検査・超音波検査

○ 持参するもの

- ① 子宮頸がん検診統一受診券
(この用紙を切り離すとご持参のうえ、受診時に提出してください)
- ② マイナンバーカードなどの身分証明書
- ③ 検診料金 1,800円

※生活保護受給者は生活保護受給証明書を提出してください。
身体障害者手帳1～3級をお持ちの方は手帳を提出してください。
いづれかに該当する方は無料です。

(裏面もご覧ください)

検診料金 ¥1,800 令和7年度

子宮頸がん検診 統一受診券
(医療機関一括方式)

検診の実施期間で使用する場合はお持ちください。期限切れとなりますので、
交付月日 令和7年12月26日まで
大仙市長 老松 博行

大仙市長 老松 博行

【42歳以上
偶数年齢】

子宮頸がん検診
(医療機関方式)
における受診券

大仙市長 老松 博行
(公印省略)

令和 年度 子宮頸がん検診(医療機関方式)における受診券の送付について

市では、42歳以上の偶数年齢の女性(令和 年4月1日時点)を対象に、子宮頸がん検診・婦人科超音波検診を市内協力医療機関で実施しています。
あなたは、「医療機関による個別検診」を希望されましたので、「子宮頸がん検診(医療機関方式)受診券」を送付いたします。有効期限までにご利用くださるようお願いいたします。

○ 検診実施期間 交付日～令和 年 月 日()

○ 検診内容 問診・子宮頸部細胞検査・超音波検査

○ 持参するもの

- ① 子宮頸がん検診(医療機関方式)受診券(この用紙を御持参ください)
- ② 健康保険証等、身分を証明できるもの
- ③ 検診料金 1,800円

※いづれかに該当する方は無料です。
70歳以上の方
※生活保護受給者は生活保護受給証明書を提出してください。
身体障害者手帳1～3級または検診日5日前に65歳以上で4～6歳をお持ちの方(手帳をお持ちください)
※子宮頸がん検診(医療機関方式)受診券は、裏面に記載の医療機関でのみ使用できます。
(裏面も御覧ください)

令和 年度 大仙市
子宮頸がん検診(医療機関方式)受診券

有効期間 令和 年 月 日まで 検診料金 ¥1,800

大仙市長
大仙市

問い合わせ先
大仙市健康増進センター

すでに医療機関による個別検診を
登録している方

今年度検診対象となる方(20～40歳の方、
42歳以上偶数年齢の方)には、別途案内を
送付します。
案内が届いたら受診券の内容を確認し、
実施医療機関で検診を受診してください。

子宮頸がん検診を登録していない方
または
集団検診から医療機関による
個別検診に変更したい方

受診を希望される方へ、医療機関用の
受診券を発行いたしますので、電子申請
(P2 参照)またはお住まいの地域の
健康増進センターへお問い合わせください。

※登録状況が不明な方は、お住まいの地域の健康増進センター(健診ガイド表紙参照)に
お問い合わせください。